

R I 2 8 4 0 地区 森田高史ガバナー ★ 記念 講 話 ★

「今年1月13日から19日にかけて、アメリカ サンディエゴにおいて開催された国際協議会に出席してまいりました。若い世代に参加してもらおうと、ローターアクトが出席しておりました。本地区は、10クラブにローターアクトがあります。今回1,200人の中から60名のローターアクトが参加しました。日本からは、3名の方が参加しました。これからも、ローターアクトへの呼びかけが継続するものと思われます。世界には538地区があり、そのうち日本には38地区があります。ロータリーの将来のために、ローターアクターをもとに、会員が30代・40代のクラブ造りを提唱しています。“コダック”ではなく、“アップル”のように、新しいものを取り入れ次の世代を担うことが重要です。

昨年度のRI会長 バリー・ラシーン氏は、“インスピレーションになろう”をテーマとして提唱され、同じ方向を向いているフラミンゴの中で違う方を見ている一匹を大切にす、変化をもたらすことの大切さを説かれました。これからは、変化を求めて行動しなくてはならないと思います。

当クラブの課題としまして、この地区で平均年齢が一番高いことが挙げられます。また、会員減少傾向にあります。しかし、先ほどお聞きした3カ年長期計画は大変心強く感じた次第です。“クラブイノベーション”を念頭に置き行動すれば、3年たった時にこの3カ年計画が達成されていることと思います。



ロータリーも変化しております。入会金はとらない、例会回数は月2回以上など、クラブの自治権を尊重し、クラブの裁量でいろいろなことが決定できるようになっています。クラブが発展するよう、会員身分の職業分類及び地域社会について検討していただきたいと考えます。メイクアップにも変化がもたらされました。かつては、例会日の前後7日間がメイクアップとして出席扱いになったものが後に前後14日間に変更され、今年度から年度内であれば有効となりました。

今年度のRI会長 マーク・ダニエル・マローニー氏は、ロータリーの成長（会員増強）とファミリーが揃うことを強調されています。当クラブは、月の第一例会には、会員夫人が出席するとお聞きしています。また、本日は、午前中から私どもを迎える準備をしていただいたとのことありがとうございます。まさに“当地区のモデルクラブ”と言えると思います。ぜひ、戦略計画をもとに、皆さんで知恵を出し合い、3～4年後のクラブのあり方を模索していただきたいと思います。本日はありがとうございました。」